

報道関係各位

ニュースリリース
2019年12月26日
株式会社インテージヘルスケア

2019年11月度 市販薬(OTC)市場 薬効別ランキング
消費税増税後の買い控えは解消傾向に
冬場の感染症対策、ジェルタイプなどの手指消毒剤が前年比169%

株式会社インテージヘルスケア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁司与志矢、以下インテージヘルスケア）は、全国一般用医薬品（OTC）販売動向調査のデータを基に、「2019年11月度 市販薬^{※1}市場 薬効別ランキング」を発表しました。

※1 市販薬：ドラッグストアや薬局で販売される一般用医薬品（OTC）のこと。当社データは指定医薬部外品を含みます。

◆ 11月度は消費税増税後の買い控えが解消傾向に。販売金額928億円、前年同月比99.1%
「市販薬市場の販売金額推移」

市販薬市場の販売金額推移



消費税増税から2か月が経過した11月度、市販薬の市場規模は928億円、前年同月比99.1%という結果でした。過去5年の11月の平均を100とした場合の指数は101.8であり、消費税増税後の買い控えが解消に向かっている様子が見られます。

◆ 昨年に比べて気温が低かった地域が多く、風邪関連薬が大きく伸長「好調薬効トップ5、不調薬効ワースト5（金額前年同月差）」

当月度好不調薬効 前年差

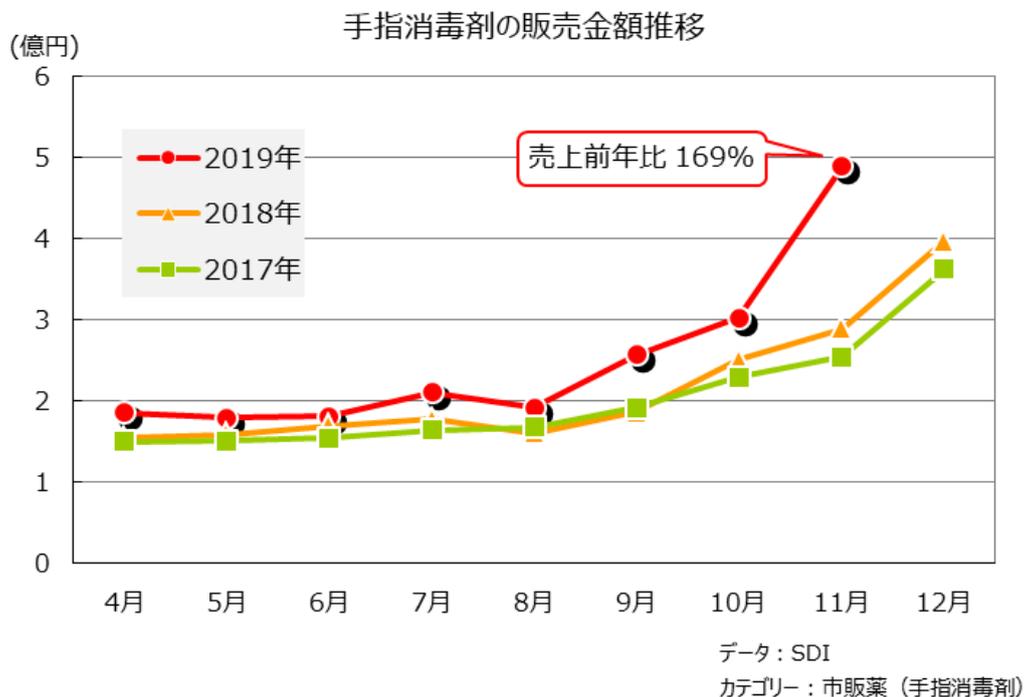


11 月度は、多くの薬効で消費税増税による影響は解消されました。増税前の買いだめが顕著だったビタミン B1 剤、滋養強壮剤、毛髪用剤などでは前年割れが続いているものの、2014 年 3 月の増税後の買い控えと比較すると影響は緩やかです。

また 11 月上旬や最終週は、昨年に比べて気温が低かった地域が多く、体調を崩す人が多かったようです。総合感冒薬・口腔用薬^(※2)・鼻炎治療剤・手指消毒剤・うがい薬などの風邪関連薬が大きく伸長しました。

※2 口腔用薬：のどスプレータイプやトローチなど

◆ 感染症対策に手指消毒剤が売上急増！ ジェルタイプ中心に定番品として定着へ



例年より早い11月上旬から増加し始めたインフルエンザの流行も手伝って、売上が急増しているのが手指消毒剤です。今年は9月頃からジェルタイプの指定医薬部外品を中心に売上が伸びはじめ、前年同月比169%となりました。冬場の定番商品として定着が進んできているようです。

このほかの感染症の予防対策として、うがい薬も11月は年同月比106%と比較的好調ですが、薬用の除菌ハンドソープについてはあまり伸びが見られませんでした。

◆SDI（全国一般用医薬品パネル調査）◆1960年調査開始 ※2018年4月度から調査設計を変更

対象業態	OTC 医薬品を販売しているドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア
エリア	全国
調査店舗数	3,245 店舗
データ収集方法	POS データのオンライン収集
対象カテゴリー	医薬品、指定医薬部外品 (対象カテゴリーのバーコードが付与されている商品のみ)
調査項目	各店舗におけるバーコード別の販売年月日、販売個数、販売金額など

【株式会社インテージヘルスケア】 <https://www.intage-healthcare.co.jp/>
 株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。
 インテージヘルスケアは2019年4月、株式会社アスクレップと株式会社アンテリオが経営統合し、スタートしました。

※ 株式会社協和企画、株式会社医療情報総合研究所、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【報道関係のお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア
 経営企画部 企画・広報グループ 林（はやし）
 TEL：03-5294-8393(代)
 お問い合わせ：pr-ihc@intage.com

【本調査に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア
 コンシューマーヘルスケア・ソリューション部
 担当：草間（くさま）
 TEL：03-5294-8393(代)
 「お問合せフォーム」<https://www.intage-healthcare.co.jp/contact/service/>